

【家具・インテリアショップの運営やインテリアコーディネート、ドラマの美術協力を手掛けるリグナ】

＜イベントレポート＞ RIGNA THE SESSION を開催

北欧デザインは完成したのか？～ウェグナーから現代までを読み解く～

家具・インテリアショップの運営、ドラマの美術協力などを手掛けるリグナ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：山岸伸弘、以下リグナ）は、2025年12月17日（水）にトークセッション「RIGNA THE SESSION Scandinavian interior」を開催しました。北欧にゆかりのある有識者をお迎えし、「北欧デザインは完成したのか？～ウェグナーから現代までを読み解く～」をテーマに、多角的な視点から議論を交わした様子をレポートします。



■イベントレポートを公開

リグナが取引しているブランドの有識者を招き、テーマに基づいてトークを繰り広げる「RIGNA THE SESSION」。今回は、昨年も登壇いただいた羽柴氏、郡司氏に加え、今後リグナが新たに取り扱いを開始予定のデンマークブランド「Overgaard & Dyrman（オーバーガード&ディルマン）」の日本総代理店である EFFEKT 代表・小谷氏、さらに Instagram や YouTube でインテリア情報を発信するインフルエンサー・リンダ氏をお迎えしました。事前申込制にて35名の来場者を募集した本イベントは、告知後ほどなくして定員に達し、満席での開催となりました。



(左) 羽柴氏・小谷氏・郡司氏・リンダ氏・村野 (右)

登壇者プロフィール

＜羽柴氏＞デンマーク人の父を持ち、日本とデンマークを行き来して育つ。ハンス・J・ウェグナー本人の自宅を訪問し、家具だけでなく「人としてのウェグナー」に触れた体験を語る。デンマークの職人文化や国策としてのデザイン教育にも熟知。

＜小谷氏＞百貨店・インテリア業界での実務経験を経て、デンマークブランド「Overgaard & Dyrman」の日本総代理店を設立。現代のデンマーククラフトを日本市場にどう伝えるかを、実践的な視点から語る。

＜郡司氏＞カール・ハンセン&サン ジャパンにて11年間勤務。ウェグナーのみならず、コーア・クリントから現代までのデンマークモダンデザイン史を俯瞰し、製品トレーニングやスタイリングを通じて「思想としての北欧家具」を伝える。

＜リンダ氏＞映画業界出身。現在はインテリアYouTuberとして、「ブランドとデザイナーの関係」「歴史と制作者の意図」「目に見えない価値」を言語化。今回は専門家と一般層をつなぐ“翻訳者”的な立ち位置から参加。

＜村野（MC）＞リグナの家具責任者。家具を裏側から覗き込む“家具変態”として議論をナビゲート。

＜お問い合わせ先＞

リグナ株式会社 広報担当：友近（トモチカ）

TEL：090-5690-8885 MAIL：press@rigna.com

Rigna



北欧家具に囲まれた温かな空間の中、来場者にリグナテラス東京の近くで販売されているカヌレとワインが提供され、登壇者の自己紹介からトークセッションがスタートしました。冒頭、羽柴氏がウェグナーの自宅を実際に訪れた際のエピソードを披露。デザインの話にとどまらず、人間・ウェグナーの人柄に触れる内容に、会場の空気は一気に引き込まれました。続いて、MC の村野がインテリアの歴史を解説。古代四大文明からフランス革命、イギリスの産業革命へと至る欧洲の歴史をたどりながら、大量生産される工業製品への反動として生まれた「アーツ & クラフツ運動」まで、欧洲インテリア様式の変遷を振り返りました。

その後、「デンマーク近代家具デザインの父」と称されるコーア・クリントを起点に、彼がデンマーク王立芸術アカデミーで提唱した「リ・デザイン」や「人間工学」の思想を紹介。また、北欧デザインが長く愛される理由として、「物理的耐久性」と「美的耐久性」という“二つの耐久性”的重要性が語られました。さらに、宗教、教育、価値観、歴史といった多層的な視点から、北欧デザインがどのような背景と精神性のもとで育まれてきたのかについて議論が深められ、来場者それぞれが改めて「デザインとは何か」を考える時間となりました。

トークの中盤には、ウェグナーの人間味あふれる人となりや、ポール・ケアホルム、ボーエ・モーエンセンをはじめとする多くのデザイナーとの関係性、メーカーと共にプロダクトを作り上げる高いコミュニケーション力やプロデュース力にも話題が及びました。職人技が支えるタイムレスなデザインの魅力、そして現代北欧ブランドによる革新的なアプローチなど、北欧デザインが今なお進化し続けている理由について、熱量の高いトークが展開されました。

そして、最後に「北欧デザインは完成したのか？」という問い合わせに対し、「完成していないからこそ価値がある」という共通認識が語られました。過去の名作を尊重しながら、クラシックな要素を守りつつ、現代の技術や価値観、暮らしに合わせて再解釈を重ねていくこと。それこそが、北欧デザインが 100 年以上にわたり支持され続ける理由であり、今後も更新され続ける原動力であるというメッセージが浮き彫りとなりました。

トークセッションは終始大盛況のうちに終了。参加者からの質問も活発に寄せられ、北欧インテリアの奥深さを再認識する貴重な機会となりました。また、会場では抽選会も実施され、当選者にはクリッパンのウールスローが贈呈されました。



■取り扱いブランドの先行展示も実施

本イベントでは、リグナが新たに取り扱いを開始する北欧ブランド「MAKE nordic（メイク・ノルディック）」（※日本初上陸）と「Overgaard & Dyrman（オーバーガード&ディルマン）」のプロダクトを先行展示しました。伝統的なクラフトマンシップを継承しながら、現代のライフスタイルに寄り添う新しい北欧デザインに、実際に触れ、座り、素材感を確かめながら理解を深める機会となりました。参加者からは、「家具を見る視点が変わった」といった声が多く聞かれました。

■アーカイブ配信中&新商品取り扱いの詳細は後日発表！

当日のトークセッションのアーカイブは、リグナ公式 Instagram にて公開中です。また、本イベントで先行展示した「MAKE nordic」および「Overgaard & Dyrman」については、今後リグナで取り扱いを開始する予定です。取り扱い開始時期やラインナップなどの詳細については、決定次第あらためて発表します。

＜お問い合わせ先＞

リグナ株式会社 広報担当：友近（トモチカ）

TEL：090-5690-8885 MAIL：press@rigna.com

Rigna

<リグナ公式 Instagram にてアーカイブを配信中>

<https://www.instagram.com/p/DSXT7ZVAcPH/>

■ハンス・J・ウェグナー (Hans J. Wegner) について

1914 年生まれ。20 世紀を代表するデンマークの家具デザイナー。特に「椅子の巨匠」として知られ、92 年の生涯でなんと 500 脚以上の椅子をデザインしたといわれており、その多くがカール・ハンセン&サンをはじめとする様々なメーカーによって製造・販売され続けている。木工職人としてのバックグラウンドを持ち、素材への深い理解と高度なクラフトマンシップ、人間工学に基づいた造形を融合させたデザインが特徴。代表作に「Y チェア CH24」などがあり、北欧デザインの思想と美しさを世界に広めた存在として、今なお高い評価を受けている。

■トークセッション「RIGNA THE SESSION Scandinavian interior」の概要

日程：2025 年 12 月 17 日（水）19:30～21:00

会場：リグナテラス東京 3F（東京都中央区新川 1-9-3）

トークテーマ：北欧デザインは完成したのか？～ウェグナーから現代までを読み解く～

<登壇者>

元スカンジナビアリビング東京支店長 羽柴 健 氏

OVERGAARD & DYRMAN 日本総代理店 EFFEKT 小谷 泰久 氏

カール・ハンセン&サン ジャパン株式会社 群司 圭 氏

コンテンツディレクター HYGGEscape リンダ 氏

リグナ株式会社 家具・インテリア事業部部長兼執行責任者 村野 友明

■インテリアライフスタイルショップ「リグナテラス東京 東京店」について <https://rigna.co.jp/category/rigna>

300 社を越える国内外の家具・インテリアブランドを取り扱う日本最大級のインテリアライフスタイルショップ。様々なスタイルの家具を独自にセレクトし、照明、ラグ、雑貨も豊富に取り揃えています。アクセスは茅場町から徒歩 5 分、東京駅からタクシーでワンメーター。



営業時間：11:00～19:00

定休日：木曜日（※木曜日が祝日の場合は営業 年末年始を除く）

住所：〒104-0033 東京都中央区新川 1-9-3

TEL：03-6222-0760

■リグナ株式会社について <https://www.rigna.co.jp/>

「世界中にときめく空間をつくる」をミッションとして掲げ、インテリアライフスタイルショップ「リグナテラス東京」を運営しております。インテリア業界に精通した目利きのバイヤーがセレクトした国内外の家具をはじめ、インテリア雑貨、アートを取り揃えております。また、店舗運営のみに留まらず、EC サイトの運営、オリジナル家具ブランドの開発、toC/toB に向けた家具インテリアコーディネート、映画・ドラマのインテリア監修も手掛けております。クライアントの要望に合わせ全てのデザインを可視化する 3DCG 制作サービス「RIGNA CG LABO」も展開中。

本社：東京都新宿区四谷 1-4 締半野原ビル

設立：1966 年 10 月 1 日

代表：代表取締役社長 山岸 伸弘

資本金：1,000 万円

事業内容：インテリアライフスタイルショップの運営、オンラインショップの運営、オリジナル商品の開発

3DCG 制作サービス、専門店・オフィスなどのデザインディレクション、住空間のインテリアコーディネート

<お問い合わせ先>

リグナ株式会社 広報担当：友近（トモチカ）

TEL：090-5690-8885 MAIL：press@rigna.com